

## 埼玉県民共済

# 県民共済制度の殻を破った「新型・県民共済」の発売を決定

2017年7月18日

各位

会社名 埼玉県民共済生活協同組合  
代表者名 理事長 利根 忠博

**就職や結婚をしたばかりで貯蓄が少ない世代、こどもの教育費や家のローンで精一杯で万一の時に回せるお金がないという方々に朗報!!**

埼玉県民共済生活協同組合（URL: <http://www.saitama-kyosai.or.jp/> 本部：さいたま市中央区上落合 理事長：利根忠博）は、臨時総代会を開催し、新商品として「**新型・県民共済**」を発売することを決定しましたので、お知らせします。

なお、この商品は総代会の決議後、直ちに、埼玉県（県民生活部・消費生活課）へ認可申請を行い、上田清司埼玉県知事の認可をすでに得ております。

駅前やショッピングモールには保険ショップが林立し、一歩入るとずらりと並ぶ保険会社のパンフレット。90年代後半の金融ビッグバンにより保険会社の数は増え続け、国内系、外資系、損保系、ネット系と…40社以上も存在しますが、一方で保障の対象となるべき現役世代（15歳～65歳）の人口は減っており、保険会社間の競争は激化しています。

こうした競争が消費者にとって優位に働いているのだろうか疑問視されており、本年4月に行われた講演会で金融庁長官は「**手数料獲得が優先され顧客の利益が軽視される保険ビジネスのあり方は憂慮すべきことであり、社会的に続ける価値があるのか?**」という警鐘を鳴らしています。

埼玉県民共済は、1973年の創業以来ずっと「残された家族や病気になって入院した時の自分のために、保険は必要だけど掛金が高くて加入できずに不安な毎日を送っている方々の不安を取り除き、安心して楽しい毎日を送ってほしい。」という一心で、小さな掛金で大きな保障の共済を販売してまいりました。おかげさまで、現在では埼玉県民の2.5人に一人に相当する286万人（件）の方にご加入いただく国内最大級の共済組合に成長できました。

そこで、創業45年目を迎えた2017年9月より、多くの方からのご要望にお応えし、「**新型・県民共済**」を発売いたします。この商品は、就職や結婚をしたばかりで給与もボーナスもまだまだ少なく、日々の生活に精一杯で貯蓄に回せるお金なんて…、ましてや万一の時の保険や共済なんて…絶対無理!! だけど、もし病気やケガで入院したり手術したりすることになったら、貯金はないし、どうすれば良いんだろう? 誰を頼れば良いんだろう? と悩んでいる**20代30代の方々**や、こどもの教育費や習いごとの費用、家や車のローンなどの負担が大きくて、万一の時を考えると保険や共済が必要なことは分かっていても、なかなかお金が回せない!! と不安に思っている**40代の方**へぴったりの共済です。

「**新型・県民共済**」の月々の掛金は2,500円と5,000円の2コース。申し込みできる年齢は15歳から64歳で、保障は15歳から75歳と従来商品の「医療・生命共済」の65歳までを10歳引き上げました。また、若年層の入院・手術保障も大幅に引き上げ、入院日額は最高30,000円、手術も最高15万円（月掛金5,000円コース）と先に述べた若年層のニーズに十分対応した共済商品になっています。現在、コンピュータシステムの構築や、パンフレット、申込書の作成を急ぎ、県民の皆様への広報準備を整えているところです。

埼玉県民共済は、創業以来の目的である「どこよりも小さな掛金で、どこよりも大きな保障」の実現を目指し続けます。

<本件お問い合わせ先 電話 048-857-1658 広報部 / 企画部 >

**県民共済**